

発酵活用でリンゴ加工残渣のキノコ培地化と廃培地の高機能飼料化

協全商事株式会社

所在地	長野市
資本金	3,500万円
従業員数	13名
主要事業	機械器具の製造・販売

研究開発のポイント

【課題】

未利用バイオマス(リンゴ加工残渣、キノコ廃培地)の大量発生は、高コスト化による経営圧迫と各産業の疲弊を招いており、廃棄や焼却による環境負荷も大きな課題とされている。

【開発概要】

リンゴ加工とキノコ生産から大量に発生する未利用バイオマスについて、発酵技術で多段的有効活用の事業化と産業間の連携による一貫システムの構築を目指す。

主な開発成果

- 乳酸菌発酵によるリンゴ加工残渣の長期保存化
- リンゴ加工残渣添加によるキノコ培地の性能向上
- 乳酸菌発酵によるキノコ廃培地の長期保存
- リンゴ加工残渣を添加したキノコ廃培地の高機能飼料化

効果

- 乳酸菌発酵を利用したリンゴ加工残渣の長期保存技術の開発に目途が付き、培地の大量生産実証実験を重ねて、商品化に繋げることができた。
- H27年度から研究開発結果の企業化による収入を実現し、参画機関全体で 2,600万円の売り上げを達成した。

公益財団法人長野県テクノ財団支援事例 【善光寺バレー地域センター】

担当コーディネータ: 玉井 秀男

参画機関

- ・株式会社鎌田工業
- ・国土興産株式会社
- ・信州大学農学部

活用した支援制度

- ・戦略的基盤技術高度化支援事業 (H24~H26年度:経済産業省)

